

トレードマーク

ひげを伸ばし始めたきっかけは、初めて赴任した大学で、図書館の職員に学籍番号を書くように言われたこと。「実年齢より下に見られがちでしたが、そんなにも貫録がないかとショックを受けました」。しかし、10年ほど前にばっさり剃ってみたものの、ほとんどの人に気付かれなかったとか。「顔の中でこんなに面積を占めているのにどうしてって。これもショックでしたね」

4年で100本以上

趣味の一つが万年筆の収集。「高級品を1本入手すると、ついついもう1本となってしまふ」と、4年間で集めた数はモンブランやデルタ、ビスコンティなど有名ブランドが40〜50本、安価なものも含めると100本を超えるそう。「最近では買い控えています。使い切れませぬからね」。気付くのが遅かった…。

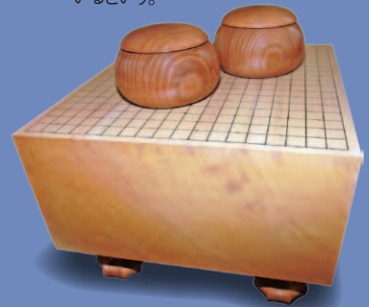


愛車で落語

愛用のiPodには青春時代のアイドル、山口百恵の「コンプリート百恵伝説」や落語が入っている。好きな作家は桂米朝、三遊亭圓生、古今亭志ん朝など。通勤の車中にはBluetoothを介して米朝節が流れ、「毎朝、米朝さんの世界に浸っています」。

一番のお宝

大学院時代に始めた囲碁はアマ六段の腕前を誇る。6年前に入手した本榎^{（本榎）}榎目六寸盤と日本産本ハマグリ碁石、桑碁笥のセットは若いころから憧れていた逸品。「打った時の弾むような感触がたまりません」。もともと、普段は使うのがもったいなくて床の間に飾っているという。



研究者としてのルーツ

高校時代に見た映画「ジョニーは戦場へ行った」は、戦場で両手、両足、耳、口を失った青年が人体実験のために生かされるという物語。「主人公の心は生きているのに、肉の塊のような扱いをされるのがつらくて。でも、絶望の中にあって、ラストでは首を振ってモルルスで言葉を発するのです。私が大学で障害児教育に関心を持った根底にはこの作品があったと思います」



かわ あい よし お
河相善雄 教授

障害科学コース

神戸市出身。昭和54(1979)年、広島大学を卒業後、同大学院博士課程、愛知教育大学助手・助教授を経て、平成3(1991)年兵庫教育大学助教授に。17(2005)年、教授に就く。主に「特別支援教育における地域療育経営」を研究している。授業は「特別支援教育研究I(理念・制度)」[特別支援教育特論][特別支援教育]を担当。

先生に質問!

Q&A

Q 主に研究されていることは。

A 特別支援教育の視点で考える、地域で子どもを育てる体制づくりです。学校や病院、役所の福祉部、保健関係の機関等がスムーズに連携することで、障害のある子どもや、障害と言えないまでも少し問題のある子ども、あるいは家族が抱える問題に対して適切な支援を見つけやすくなります。ただ、制度のしがらみなどもあって、完璧なものが出来上がるにはまだまだ時間がかかりますね。

Q 先生は体制図を描くのですか。

A そうです。でも、現実的な側面を分かっているのと描けないので、専門家チームに入ってもらったり、教育相談に携わったりしています。今年度から兵庫県を要請を受け、学校の子どもの様子を観察した上で教育相談に応じることもしています。

Q 最近は障害のある子どももい子も一緒に学ぶ「インクルーシブ教育」が注目されています。

A 小学校だけでも特別支援学級ではなく通常学級で学ばせたいと願う保護者は多くいますから、そういう意味では良いことだと思えます。ただ、通常学級の教員は大変です。現状では養成段階での領域の科目の履修経験のない人も多く、障害のある子どもに対する理解を深め、保護者の悩みを共感的に受け止めなければなりません。私も認定講習や免許状更新講習で特別支援教育の基本的な考え方や最新の情報などを紹介し、教員のスキルアップに貢献できればと考えています。